

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

飯綱町

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	野生鳥獣の緩衝帯整備
事業費		706,200 円 (うち支援金: 622,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

農地に近い里山で野生鳥獣の出没が多く、農作物被害が多発しており、課題となっている。

(2) 本事業の目的

農作物被害を防ぐため、緩衝帯整備(間伐・藪払い)を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所: 倉井地区

(2) 対象者: 飯綱町(地区住民及び地区耕作者を主体)

(3) 実施方法: 町が業者に依頼し緩衝帯整備(間伐・藪刈り)を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成 30~令和 4 年度) 町内 5ha(1ha×5 年)

②令和 2 年度実績 倉井地区 5,000 m²



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

集落や農地に近い里山の目に見える部分の緩衝帯整備(間伐・藪刈り)を実施することで、野生鳥獣が出没しにくい環境をつくり、被害防止に繋げる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

農作物に対する野生鳥獣被害は、森林との隣接地を主体に飯綱町全体に及んでおり、継続し実施する必要性がある。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

農作物に対する野生鳥獣被害対策は、住民にとって大きな課題であり、集落周辺の見える場所で実施することにより住民へのPR効果は高い。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

事業実施場所周辺での野生鳥獣による農作物被害の軽減に期待したい。

地域の課題となっている、野生鳥獣被害対策を住民の身近な個所で実施することはPR効果が高い。

(2) 課題

野生鳥獣との共存を含め、野生鳥獣被害対策は町内全体の課題であり、町内全体に対する引続き対策の実施が課題。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

予算の範囲内で継続して実施していく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)